



ドローンと磁気センサ、AIとXRを 組み合わせた磁気異常探査と測定 結果の可視化技術

Keywords ドローン, 磁気センサ, AI, XR, 磁気異常探査、可視化

01 本研究の適用分野・用途

- 磁気異常測定
- 不発弾探査
- 測定結果の可視化
- 測定結果をXRへ投影

02 アピールポイント

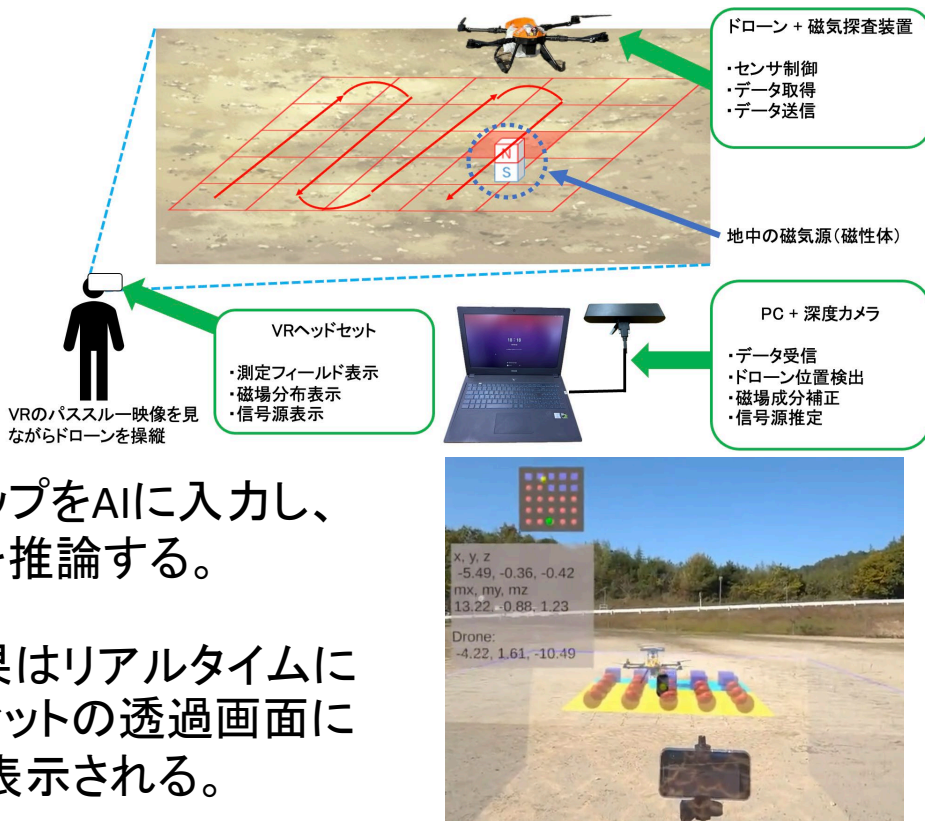
■ 高感度な空中磁気計測による安全・高度な磁気異常探査

- 不発弾のような磁性体由来の磁気信号の検出等の応用
- 測定結果の即時可視化、信号源推定、XRへの投影

研究概要

概要: ドローンにマイコン、磁気センサ、慣性制御装置(IMU)等を搭載して、磁気探査を行う。ドローンの位置は深度カメラとAIで検出・同定し、磁場マップを作成する。磁場マップをAIに入力し、磁気信号源の位置を推論する。

特徴: 測定・推論結果はリアルタイムに表示され、XRヘッドセットの透過画面にサイバー情報として表示される。



KINDAI
UNIVERSITY

近畿大学工学部
(広島キャンパス)

電子情報工学科

教授 廿日出 好 (はつかで よしみ)

